

レポート作成に必要な情報を得るためには

1. 図書検索

出版されている書籍、専門書などは、著者や出版社が推敲を重ねているため信頼できる情報が得られます。図書検索システムを利用することで効率よく目的の情報を得ることができるでしょう。

2. インターネットを利用した検索

インターネットやそれを利用した SNS（ソーシャルネットワーキングシステム）、スマートフォン、PC、タブレット等による通信は非常に便利であり、強力なツールとなります。インターネットを利用して以下のような情報源からデータを得ることができます。

- ニュース
- 官報・議会資料・白書・政府自治体情報
- 各国政府、官公庁、地方自治体、政府系シンクタンク
- 辞書・百科事典
- 統計資料
- 法令判例集
- 研究所、博物館、美術館などのデータベース
- 大学、研究所の紀要や雑誌

他にも、個人が作成するホームページなどがあります。ただし、内容が頻繁に更新されたり書き手の責任が曖昧なことがあるため、情報の信頼性を高めるためには出典元の確かな組織・団体などから情報を得ることが大切です。確かな情報を利用することはレポートの信頼性を高めるために欠かせません。

<注意>

インターネットは誰でも利用できる技術であり利用する人数も多いことから、現在でも悪用や不正利用、誤った情報の流布などが絶えません。インターネット上の情報を利用する際には以下の点に注意しましょう。

● 情報を利用するとき

たとえば、個人のホームページや投稿について無断で利用することを禁じている場合があります。また、自由に閲覧できるデータであっても、それらを利用するときは著作者や出版社などの許可が必要なこともあります。ホームページなどに表記されている注意事項をよく読み、判断に迷う場合は教員に相談しましょう。

● かならず出典を示す

インターネットの情報であっても、出典を示さずにレポートで引用・参考にすることはルール違反になります。参考文献などで出典元がわかるように記載しましょう。

引用文献・参考文献の書き方

引用文献や参考文献を正確に書かなければ、読者は十分な情報を得ることができず、その内容を正確に理解することができなくなってしまう。そのため、レポートにはその最後に「引用文献・参考文献」を示さなければなりません。以下に書き方について示します。

書き方の例（岡本尚也, 2017）

1. 日本語の本

- 編著者がおらず、すべての章を同一の著者が書いている場合
吉見敏哉 (2011). 『大学とは何か』. 岩波書店.
(著者) (発行年) (書名) (出版社)
- 複数の章を異なる著者が書いており、編著者がいる場合
森一夫 (2001). 「理科はなぜ離れられてしまったのか」. 左巻健男, 刈谷剛彦編著.
(著者) (発行年) (書名) (編著者)
『理科・数学教育の危機と再生』. 岩波書店.
(書名) (出版社)
- 訳本（日本語の情報を記入したのち、カッコ内に翻訳の原本の情報を載せる）
ディラック P.A.M., 江沢洋 (翻訳) (2005). 『一般相対性理論』. 筑摩書房.
(著者) (翻訳者) (訳本の発行年) (訳本の書名) (訳本の出版社)
(Dirac, P.A.M. (1975). *General Theory of Relativity*. Wiley-interscience Publication)
(著者) (発行年) (書名) (出版社)
本のタイトルはイタリック（斜字）にする

2. 英語の本

- 編著者がおらず、すべての章を同一の著者が書いている場合
Meier, F. & Zakharchenya, B. P. (1984). *Optical Orientation*. North-Holland, Elsevier.
(著者) (発行年) (書名: イタリック) (出版社所在地) (出版社)
- 複数の章を異なる著者が書いており、編著者がいる場合
Kedde, N. (1971). Classroom Knowledge. Young, M.F.D. ed.
(著者) (発行年) (引用する章のタイトル) (編著者)
Knowledge and Control: New Directions in the Sociology of Education. Colier-Macmillan.
(書名) (出版社)

3. 論文

- 日本語の場合
中野由美子 (1974). 「階層と言語 -教育社会学における言語研究の位置づけ-」.
(著者) (発行年) (論文のタイトル)

教育社会学研究. 29(0), 146－160.

(雑誌名) (巻数・号数) (論文のページ)

➤ **英語の場合**

Einstein, A. (1921) . A Brief Outline of Development of the Theory of Relativity.

(著者) (発行年) (論文のタイトル)

Nature, 106 (2677) , 782-786.

(雑誌名) (巻数・号数) (論文のページ)

4. 新聞

執筆者 (署名入りの場合)、掲載誌、記事名、日にちを記載する

日本経済新聞 (2000). 「顧客の信用方法公開」.東京本紙 3 月 20 日朝刊.

(新聞名) (掲載年) (記事のタイトル) (地域、掲載日)

5. インターネットの資料

文部科学省 (2012) .大学改革実行プラン～社会の変革のエンジンとなる大学づくり～.

(作成者) (公開年) (Web ページのタイトル)

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/06/_icsFiles/afield/2012/06/05/13127

(URL)

98_01_3.pdf. 2016 年 6 月 23 日.

(アクセスした日付)

参考文献

岡本尚也 (2017) .『課題研究メソッド -よりよい探究活動のために-』.啓林館.

付録

- **ニュース**：新聞社、テレビ局などのマスメディアが提供
- **官報・議会資料・白書・政府自治体情報**：各国政府、官公庁、地方自治体、政府系シンクタンクが提供
- **辞書・百科事典**：出版社、大学研究室などが提供
- **統計資料**：政府系統計センター、国連統計局、全国統計協会連合会など民間統計機関が提供
- **法令判例集**：法務省、裁判所が提供
- **研究所、博物館、美術館などのデータベース**：日本の国立情報学研究所の多様なサービス、国内外の博物館・美術館が提供
- **大学、研究所の紀要や雑誌**：大学が発行している紀要や雑誌をホームページ上で外部に公開している場合は利用できる

参考文献

河野哲也（2018）．『レポート・論文の書き方入門 第4版』．慶應義塾大学出版会．